

長野の林業

令和元年9月10日発行
長野の林業編集委員会

No.356

もくじ



次世代森林産業展2019	1
3つのセミナー パネルディスカッション/特別講座 /デモンストレーション	2
特集 森林フォーラム開催	3
トピックス.....高校生林業体験研修	4
長野県林業大学校 オープンキャンパス 豚コレラの感染拡大防止	5
お知らせ.....野生きのご注意喚起/信州きのご品評会告知	6
県森連だより	7
長野県の木材市況	8



国内外から先端技術が集結！～次世代森林産業展2019～

令和元年8月1日（木）から3日（土）までの3日間、長野市ビッグハットで「次世代森林産業展2019」が開催されました。この展示会は、平成29年5月に国内初開催された「国際ウッドフェア2017」の後継展示会で、国内外から前回は上回る108社（前回93社）の出展があり、連日30℃を超える真夏日の中でしたが、来場者も前回は上回る6,026人（前回3,790人）と大変な賑わいを見せました。

森林イノベーション創出に向けた商談や議論に熱気 ～次世代森林産業展2019～

森林に関連する産業(林業、木材産業、木質バイオマスエネルギー産業等)の活性化に向け、関係者の連携・交流機会の創出を目的に、「次世代森林産業展2019」が令和元年8月1日(木)から3日(土)までの3日間、長野市ビッグハットで開催されました。

このイベントは、2年前に国内で初開催された「国際ウッドフェア2017」の後継展示会で、前回と同じく株式会社日本工業新聞社(フジサンケイビジネスアイ)が主催し、長野県、オーストリア大使館商務部などが特別協力しました。3日間とも真夏日の暑い陽気の中でしたが、国内外の最先端の企業や機械等の出展に加え、森林に関連する様々なセミナーや行事等が開催されたこともあり、前回は上回る6,026人の方が来場されました。

今回は、展示会中に開催された下記3つのセミナー等の開催状況を報告します。【森林政策課】

8/1 パネルディスカッション「日本の森林産業 が果たす地域社会づくりと国際貢献」

8月1日(木)の午後1時から「日本の農・林産業の未来と地域が果たす役割」と題して、農林水産省の末松広行事務次官による基調講演があり、その後、林野庁の本郷浩二長官と、長野県の阿部守一知事が登壇し、「日本の森林産業が果たす地域社会づくりと国際貢献」と題して、パネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションの冒頭において、本郷長官からは、森林経営管理制度などの制度改革について説明があったほか、阿部知事からは、長野県が取り組む「森林県」から「林業県」への飛躍に向けた施策や森林の多面的利活用の事例紹介がありました。

その後のパネルディスカッションでは、それぞれの立場から、持続的な地域社会を創っていくために、森林産業が果たすべき役割について、意見交換が行われました。

当日は、定員を大幅に上回る方が来場され、熱心に聞き入っているのが印象的でした。



パネルディスカッションの様子



盛況な会場

8/1 ～ 8/3 日本人向け林内路網整備特別講座

長野県とオーストリアとの技術交流の一環として、オーストリアの森林インフラ技術の権威である、ウィーン農科大学のカール・スタンファー教授を招聘し、特別講座が開催されました。全国各地から22名の受講生が集まり、ビッグハットでの座学のほか、信濃町にある野尻県有林において実習も行うなど、オーストリアの林内路網整備技術を学ぶことができる有意義な講座となりました。



室内研修の様子



現地実習(野尻県有林)

8/1 ～ 8/3 高性能林業機械搬出デモン ストラーション

野尻県有林において、オーストリア製コンピャーダを用いた、搬出・造材デモンストラーションが行われました。(株)サナース実施)

3日間を通じて、約130名の方に御参加いただき、最先端機械を用いた、効率的な搬出・造材を見学いただきました。



「森林フォーラム」が開催されました

しごと改革！安全な労働環境、安全対策を考える。オーストリアから学ぶ林内路網整備と労働安全・事故防止。をテーマに、八月一日に長野市ビッグハット会議室5において令和元年度森林フォーラムが開催されました。

当日はビッグハットの会場で、次世代森林産業展2019が開催されるなか、百六十人の参加者で会場が埋めつくされました。

今回のフォーラムでは、オーストリアサステナビリティ・観光省部長 マルティン・ネーバウアー氏からオーストリアの森林・林業の状況、労働安全への意識、教育体制などのご講演をいただきました。また、今回の森林フォーラムは「日本人向け林内路網整備特別講座」のオープン講座も兼ねており、ウイーン農科大学 教授 カール・スタンファー氏からオーストリアの林内路網整備として、路網

の重要性、路網と作業種の関係、環境(災害等)への配慮などのご講演をいただきました。

また、通訳のモニカ・ツィーグラールさんには、講師二人からのお話を聴講者に分かりやすくお伝えいただき、熱意あふれる充実した時間を過ごすことができました。

マルティン・ネーバウアー氏によると、現場で働く作業員の意識を、安全性へ気を配らせることが重要であり、林業の成功には、木材を様々な分野における利用と、目的に合った活用が必要であるとのことでした。

長野県が「森林県」から「林業県」へ飛躍するためには、林業先進国であるオーストリアの取組から学び、多角的に取組まなければならないと強く感じました。

今後県内各地域に適した森林・林業が展開され、「林業県 長野」へ大きく飛躍する一歩となればと思います。

【信州の木活用課】



マルティン・ネーバウアー氏



カール・スタンファー氏



通訳：モニカ・ツィーグラールさん



会場内の様子



「高校生林業体験研修会」を開催しました

長野県内の高校生を対象に、森林・林業に対する理解を深め、森林・林業分野への就職や進学を選択肢として考えてもらうための「高校生林業体験研修会」を七月三十一日から八月二日にかけて、長野県林業総合センターと長野県林業大学校で開催しました。

研修会には、六つの学校から男性十七人女性二人の計十九人の生徒の皆さんが参加されました。

研修初日は、私たちの生活に関わっている森林の働きや、木材の特性、きのこの生産技術、カラマツの苗木生産や松枯れについて学びました。

二日目は、立木の高さや太さを調査し、いくらかで販売できるか考える演習を行ったほか、チェーンソーを使って丸太を切る体験をしました。また、以前にこの研修に参加し、現在平澤林産(有)で働いている多田諒人さんを招き、実際に立木を伐採する実演をしていただき、プロの作業を見学しました。研修を終えてのアンケートでは、「様々な体験を通じて、林業を知ることが出来た」「他の参加者と仲良くなれた」「実習が楽しく、林業が就職の選択肢になった」などの声がありました。

三日目は、林業大学校のオープンキャンパスに参加し、参加者の中には林業大学校への進学を考えた生徒もいたようです。

夏休みを利用したこの研修をきっかけに、一人でも多くの皆さんが「明日の林業の担い手」として活躍されることを期待します。

【信州の木活用課】



会場内の様子



会場内の様子

長野県林業大学校 オープンキャンパスを開催しました

令和元年8月2日(金)、8月24日(土)の2回オープンキャンパスを開催しました。校内や寮を見学しながら、先輩の在学生から直接話を聞いたり、大学校で行う授業の一部を体験する、「THE林大体験」として、チェーンソー・測量・ドローン操作の各体験のうちひとつを体験してもらいました。最後には、寮食(人氣メニューのかつカレー)を食べてもらいました。

学生・生徒さん、引率の先生やご家族の付き添いの方が、二日間で100名を超える多くの方に林大を体感してもらいましたが、参加した方から、在学生から話を聞けたり、林大体験でやさしく教えてもらったりして、林大での生活がよく判ったなど感想をもらいました。

左記のとおり令和2年度入学生を募集しています。オープンキャンパスにお越しいただいた方をはじめ多くの方の受験をお待ち申し上げます。

●推薦入試

申込み…令和元年10月1日(火)

試験日…10月15日(火)

●一般入試

申込み…令和元年11月6日(水)

試験日…11月13日(水)

試験日…令和2年1月8日(水)

詳細は、長野林大HPに、「令和2年度入学生の募集について」を掲載しております。これらを「ご覧ください」か、左記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】長野県林業大学校

T397-00002

木曾郡木曾町新開4385-1

電話 0264-123-12321

FAX 0264-121-1058

E-mail ringyodai@pref.nagananlg.jp

http://www.pref.nagananlg.jp/ringyodai/index.html



豚コレラの感染拡大防止にご協力ください

【豚コレラ感染拡大の経過】

平成三十年九月に岐阜県で、国内では二十六年ぶりとなる豚コレラが確認されたから、その感染範囲は愛知県、長野県、滋賀県、大阪府、三重県、福井県に拡大しています(八月末現在)。長野県では、平成三十一年二月に愛知県から県内の養豚場に出荷された子豚から豚コレラの感染が確認され、当該養豚場の全ての豚を殺処分しています。その後県内の養豚場等での豚コレラの感染は確認されておりません。

しかし、本年の七月に入り木曾町で捕獲された野生イノシシで豚コレラの感染が確認されて以降、木曾地域、南信州地域、松本地域、上伊那地域において野生イノシシの感染が確認されています。このため、野生動物を介して養豚場内の豚が豚コレラに感染するリスクが高まっています。

【豚コレラとは】

豚コレラは、ウイルスによる豚やイノシシに特有の伝染病で、感染力・致死率ともに高いうえ、有効な治療法がないことから、感染した豚を飼育していると近隣の養豚場にも被害が拡大していくという大変な病気です。そのため、家畜伝染病予防法において、豚コレラが発生した場合は、感染が確認された養豚場の豚をすべて殺処分することが義務付けられています。

このように豚やイノシシにとっては危険な病気ですが、人に感染することはなく、国の食品安全委員会によると仮に豚コレラにかかった豚の肉や内臓を食べても人体に影響はないとされています。また、豚は、と畜場法に基づき、全頭、都道府県等のと畜検査員が異常や疾病がないか検査していますので、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。

【拡大防止対策】

豚コレラウイルスは、物に付いて運ばれる恐れがあります。山中を歩いている人や走行する車両が、それと知らずに豚コレラウイルスを運んでしまうということもあります。そのため、山林等へ出入りする際は次の二点についてご注意ください。

- 1 人、物、車両によるウイルスの持ち込み防止
靴、衣類、車両のタイヤ等に付着した泥をよく落とし、可能な限り消毒してください。逆性石鹼(ロンテクト等)や消石灰が有効です。また、養豚場等の豚、イノシシの飼育施設に近づかないでください。
- 2 死亡した野生イノシシを発見したときの対処

死亡したイノシシを発見した場合は、むやみに近づかず、発見場所の家畜保健衛生所又は市町村農林部局へご連絡ください。

家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123
伊那	0265-72-2782
飯田	0265-53-0439
松本	0263-47-3223
長野	026-226-0923
県庁園芸畜産課 家畜防疫対策室	026-235-7232

仕事、レジャー等で山林等へ入る方は、この二点に注意してウイルスの拡散防止にご協力くださるようお願いいたします。

【野生イノシシの豚コレラ発生状況等に関する最新情報】

長野県における野生イノシシの豚コレラの発生状況等の最新情報は、左記のURLで見ることができます。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/enchiku/swinefever.html>

【信州の木活用課】

きのこ採りでは有毒きのこも山岳遭難に注意!

例年長野県では九月から十月にかけて、誤って有毒きのこを食べたことによる食中毒が発生しており、そのほとんどが家庭で発生しています。

きのこ採りをする際には、次の3つのポイントに注意しましょう。

☆有毒きのこによる食中毒防止のポイント

- ① 知らないきのこは採らない、食べない、売らない、人にあげない!
- ② きこの特徴を完全に覚える
- ③ 誤った言い伝えや迷信を信じない!

もし、きのこ中毒だと思ったら、すぐに医師の診察を受けましょう。食べたものが残っている場合は、受診の際にお持ちください。なお長野県ではきのこに詳しい方を「きのこ衛生指導員」として委嘱し、きのこに関する正しい知識の普及活動をしています。きのこ衛生指導員に関するお問い合わせは、最寄りの保健福祉事務所(保健所)の食品衛生相談窓口へお尋ねください。

また、昨年はマツタケの豊作などもあり多くの方が入山されきのこ採りを楽しまれたようです。しかしながらきのこ採りにもなう山岳遭難が多発し、八月から十月にかけて21名が遭難し、うち15名が死亡しています。

きのこ採りで入山する際には、次の5つのポイントに注意しましょう。

☆山岳遭難防止のポイント

- ① 入山場所と行動予定は必ず家族等に伝える
- ② 非常時に備え、携帯電話や雨具は持って行く
- ③ 急斜面での滑落に注意する
- ④ 単独での入山は避ける
- ⑤ 熊などの野生動物に注意する

【信州の木活用課】

令和元年度長野県きのこ品評会を開催します

令和元年十月十五日(火)に、長野県庁講堂にて「長野県きのこ品評会」を開催します。この長野県きのこ品評会は、きのこの生産量日本一を誇る「長野県きのこ」の栽培技術の向上と生産拡大を目的に開催されるもので、今年で四十二回目を数える伝統ある品評会です。例年えのきたけ、ぶなしめじ、乾しいたけ、生しいたけ、なめこ等二百点以上のきのこが出品され状況を呈しております。県内のきのこ関係者により厳密に審査され、農林水産大臣賞二点をはじめとし、林野庁長官賞、知事賞等を決定いたします。当日の午後二時から出品されたきのこを一般公開します。県内のきのこ生産者の皆さんが丹精込めて作り上げた素晴らしいきのこが二百点以上並ぶさまは壮観です。是非この機会にご覧ください。

○ 審査 十月十五日(火)長野県庁講堂 午後12時～2時

○ 展示 十月十五日(火)長野県庁講堂 午後2時～4時迄

※今年出品されたきのこの即売会等のイベントは実施されません。また長野県庁の駐車場は止められる台数に限りがありますのでご承知おきください。

○ 表彰式 十一月二十日(水)ホテル信濃路

※本年度より、長野県きのこ品評会の表彰は、長野県園芸特産振興展の表彰行事内で実施します。

○ 主催 信州きのこ祭り推進協議会

○ 問合せ先 長野県林務部信州の木活用課

電話 026-235-7267(直通)

【信州きのこ祭りの推進協議会】



この夏の思い出作り！
 元気な声が響き渡る
 『森の恵み
 ふれあい祭り』特集！

令和元年8月3日(土)、もくりゆう館(安曇野市)において、『森の恵みふれあい祭り』(主催…松本広域森林組合、長野県森林組合連合会中信木材センター、後援…中信森林管理署、松本地域振興局、安曇野市)が開催されました。

今年で7回目を迎える本イベントは、一般の方々に、林業や木材に親しみを持っていただくとともに、森林や木製品のすばらしさを実感していただくことを目的として開催しています。

当日は、快晴の安曇野の空に響き渡る三郷義民太鼓とアルプホルンの演奏とともに幕開けし、地元親子連れをはじめ多くのお客様がお越しくださいました。先着50名様には、地元の社会福祉法人ドリムワークスの手作りみそガレットのプレゼントを行いました。

本年は、毎年恒例の木材市場見学ツアーや丸太の皮むき体験、ヒノキボールプールをはじめ、安曇野産アカマツ材を使った椅子作り

やヒノキmy箸作り、木の時計づくりや木の円盤のお絵かき体験などを通じて、気軽に楽しく木と触れ合っていたきました。

また、松本市のギターメーカー、(株)ダイバイザーのブースでは、県産材を活用したギターやウクレレの展示販売のほか、ギターピックを使ったストラップ作りが行われました。ヒノキ積み木広場では、子どもたちが自分の背の高さよりも高く積み木を積んで歓声をあげていました。

このほかにも、板材一点物の特価販売や林業資材、きのこ・山菜加工品の販売や包丁研ぎ講習が行われました。また、松本剣玉道場によるパフォーマンスやワークショップ、出店メンバーによる即興ライブも行われました。毎年恒例となった、職員有志による県産材を使った楽器のライブ演奏では、アカマツの松くい虫被害材を使ったエレキギターがお目見えし、最近のヒット曲を演奏するなど、会場は大いに盛り上がりました。

例年同様、暑い中にもかかわらず、250名余りの方が来場され、もくりゆう館は活気に包まれた一日となりました。本イベントが、夏休みの思い出づくりと、今後一層、森や木に親しみを持つ一助となることを願っています。



ヒノキの積み木広場



市場見学バスツアー



アルプホルンの演奏



毎年大人気のヒノキmy箸作り



ヒノキ丸太の皮むき体験



三郷義民太鼓の演奏



安曇野産アカマツで椅子作り



県産材ギターなどの展示販売



県産材楽器を使ったライブ

長野県の木材市況

令和元年九月十日発行

長野の林業通巻三五六号

発行 事務局

長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
長野県林業普及協会

(一社)長野県林業センター
(一社)長野県林業普及協会

電話〇二六(二三七)五〇二五
電話〇二六(二三六)五六二〇

Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

第1027回 市況表

(令和元年8月8日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
ひのぎ	3.0	直	14~16	13,500	9,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	14,000	10,000	
		直	24~30	12,000	10,000	
すざ	4.0	直	14~16	13,500	9,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	18,000	11,000	
		直	24~28	12,000	10,000	
すざ	3.0	直	16	10,000	8,000	4m (φ24cm~φ36cm) 直材限り需要あり。
		直	18~22	12,000	8,000	
	4.0	直	24~28	13,000	8,500	
		直	30上	14,000	9,000	
もみ	4.0	直	18上	10,000	7,000	安定的な需要あり。
くろみ	4.0	直	36	18,300	12,000	良材に高値。
さくら	4.0	直	18上	18,000	12,000	需要期過ぎ、価格低迷。
なら	4.0	込	30上	13,000	9,500	安定的な需要あり。
		込	14~18	12,000	9,000	
くり	4.0	直	18~22	26,200	14,000	
からまつ	4.0	込	18上	13,000	10,000	安定的な需要あり。

出品量 1,590㎡ 販売量 1,590㎡ 落札率 100% 買い方 30社

連日猛暑が続く中、出品にご協力いただきありがとうございました。
針葉樹(ひのぎ)は季節的な欠点があり、価格は伸び悩んでいます。また、造材に関してひのぎの場合は価格の変動がありますので、(長さ、根張のカット)など丁寧な造材を心がけてください。からまつ材は価格、需要ともに安定しています。出品よろしくをお願いします。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。
(*安全のため、荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくをお願いします)

第1029回 市況表

(令和元年8月7日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すざ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~28	13,000	10,000	
ひのぎ	3.0	直	20上	18,000	13,000	価格安定
		直	18~28	19,000	14,000	
	3.0~4.0	元	32~40	37,000	23,000	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご購入お願いいたします。
		直	14~18	13,000	10,000	
		直	20上	16,000	12,000	
		曲	14~18	6,000	5,000	
あかまつ	4.0	込	26~56	37,000	6,000	需要期過ぎ価格下げ気味。
		5.0~11.0	込	24~34	18,000	
うるし	2.0	込	24	26,000		
くり	4.0~5.0	込	20~48	24,000	13,000	
とち	3.0~4.0	込	18~34	22,000	12,000	入札活発です。
くろみ	4.0	込	20~42	20,000	12,000	ご購入下さい。
みずめ	4.0	込	18~34	32,000	16,000	
さくら	2.0~4.0	込	26~40	22,000	12,000	

出品量 2,685㎡ 販売量 2,262㎡ 落札率 84% 買い方 29社

猛暑のなか多量出品いただき感謝申し上げます。
当連合会は合法木材に取り組んでおります。
合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1061回 市況表

(令和元年8月7日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すざ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	
		直	20上	13,500	11,000	
	4.0	込	8~13	5,500	4,500	需要あり。積極的に出品願います。
		直	14~20	12,500	10,000	
		直	22~28	14,000	11,500	
からまつ	4.0	直	30上	18,000	12,000	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	8,000	5,500	
		曲	20上	11,000	8,500	
		曲	20上	14,000	13,500	
ひのぎ	3.0	直	18~22	18,000	15,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	16~18	17,000	14,000	
		直	20~28	28,000	15,000	
うたいかんぱ	4.2	直	46	30,000		
		直	30上	56,000	16,000	
くり	4.0	直	20上	14,500	12,000	問合せ増。出品願います。

出品量 6,160㎡ 販売量 5,896㎡ 落札率 96% 買い方 45社

今回は、梅雨が明け日差しの強い中、多くのお客様にご来場いただき賑やかな市況となりました。
市況としまして、カラマツについては高値で安定しており、今後もこの価格は続く見込みとなっております。スギについては横ばい傾向が続いている状況ですが、良材には高値が見られました。どちらも引き続き、丁寧な造材にてご出品お願い致します。特に、これからの時期の剥皮による測尺の狂いには十分ご注意ください。
広葉樹については、新材でも欠点少なく厳しい状況でした。新材といえども価格的には冬場にならぬ限り安くなっております。これからの時期はカビや割れ等の欠点が出やすくなりますので、広葉樹全般、極力伐採を控えるようお願い致します。もし伐採される場合には、事前のご相談をお願い致します。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の) 納品書の提出をお願いします。

第514回 木材共販市況表

(令和元年8月7日実施)



出品量 900㎡・買い方 8社・落札率 88.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 円	平均値 円	平均石値 円	備考
ひのぎ	3.0	元直	26~36	18,500	10,000	2,800	
			14	12,000	8,000	2,240	
		込	元直	16	13,000	11,000	3,080
			込	18~24	18,000	16,000	4,480
			込	26~28	16,500	15,000	4,200
			込	30上	22,000	16,000	4,480
			中込	16~22	15,000	13,000	3,640
			込	24~28	15,000	13,000	3,640
			込	30上	16,000	15,000	4,200
			元直	16~22	18,500	16,000	4,480
すざ	4.0	元直	24~28	22,000	17,500	4,900	
			30上	28,000	22,000	6,160	
		中直	12~14	12,000	8,000	2,240	
			込	16~22	15,500	15,000	4,200
すざ	3.0	込	12下	360	300	一本単価	
		込	16~18	9,500	8,000	2,240	
からまつ	4.0	直	20~22	10,500	9,500	2,660	
			24~28	11,000	10,500	2,940	
			30上	12,500	11,000	3,080	
からまつ	3.0	込	18~22	9,000	8,000	2,240	
			24~32	9,500	8,500	2,380	
からまつ	4.0	直	14~22	7,500	5,500	1,540	
			込	12~14	6,500	5,000	1,400
		小曲り	16	8,500	6,000	1,680	
			直	18~28	13,000	11,500	3,220
からまつ	4.0	直	30上	13,500	12,000	3,360	
			直	14~30	5,000	4,000	1,120
からまつ	4.0	直	12下	320	270	一本単価	

全体に出材少なく、低調。
ひのぎ、出荷少なく、低調。
すざ、出荷あるが、価格は横ばい。
からまつ国有林材出荷あり引き合いあり。出荷量少なく、価格は横ばい。引き続き出荷の協力をお願いいたします。